

決算補足説明資料

2026年度 第2四半期 業績概要

注意事項

- 本資料に記載されている業績見通し等に関する将来の予測は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により、この見通しとは異なることがあります。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因には、当社の事業領域を取り巻く国内外の経済情勢、当社製品・サービスに対する需要動向、為替・株式市場の動向などがあります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。
- 本資料に記載の数値は四捨五入にて表示しており、決算短信など他資料と異なる場合があります。
- 本資料の著作権は当社に帰属し、当社の事前の承諾なく複製または転用することを禁じます。

株式会社 安川電機 (TSE6506)

(対象期間：2026年3月1日～2026年8月31日)

当決算におけるポイント（サマリー）

➤ 2026年度 上期 実績

- ➔ **売上収益** … 前年同期比+9.8%
 - ・ データセンタおよび半導体関連投資を中心とした需要の拡大により増収
- ➔ **営業利益** … 前年同期比▲5.5%
 - ・ 経営基盤の強化を目的とした基幹システムの移行影響に加え、間接費の増加および欧州の事業構造改革費用の一時的な計上により減益
- ➔ **税引前利益** … 前年同期比+3.0%
親会社の所有者に帰属する中間利益 … 前年同期比+4.1%
 - ・ 持分法による投資損益の計上により増益
- ➔ **第2四半期 受注** … 前年同期比+38%・前四半期比+13%
 - ・ データセンタおよび半導体関連投資を中心とした需要の拡大により好調に推移し、前年同期比・前四半期比ともに増加（過去最高の四半期受注額）

➤ 2026年度 通期 見通し

- ➔ **売上収益:6,000億円、営業利益:575億円**
 - ・ 為替相場が円安水準で推移しているため通期の売上収益見通しを上方修正。
一方、基幹システム移行に伴う上期の減益影響等を踏まえ、営業利益見通しを下方修正
 - ・ 26年度の年間配当予想は4月10日公表時から変更なし（一株当たり年間配当72円）

1. 2026年度 上期 連結業績

- 2026年度 上期 実績
- 主要事業の概要
- 事業セグメント別売上収益構成比
- 所在地別売上収益, 構成比
- 営業利益増減要因分析
- 2026年度 上期における取組み
- AIロボティクス領域の拡大に向けた取組み

2. 2026年度 通期 連結業績見通し

- 2026年度 通期 見通し
- 営業利益増減要因分析
- 2026年度 下期における取組み

3. 参考資料

- 設備投資・研究開発費, 為替レート・感応度
- B/S 構造の推移
- 売上収益・営業利益推移
- 売上収益・営業利益 四半期推移
- 直近四半期営業利益増減要因分析
- 売上収益 四半期推移
- 四半期受注推移
- 参考定量情報

セグメント別事業概要

モーションコントロール

【主要製品】

- ・ ACサーボドライブ、コントローラ
- ・ リニアモータ
- ・ インバータ
- ・ 太陽光発電用パワーコンディショナ
- ・ PMモータ

など



YRMコントローラ「YRM1030」



安川インバータGA700シリーズ

太陽光発電用
パワーコンディショナ
Enewell-SOL P3H

ロボット

【主要製品】

- ・ 産業用ロボット
 - アーク・スポット溶接・塗装用途向け
 - ハンドリング用途向け
- ・ AIロボット、人協働ロボット
- ・ 半導体製造装置用ロボット
- ・ バイオメディカル用途向けロボット

など



人協働ロボット
MOTOMAN-HC35

7軸アーク溶接ロボット
MOTOMAN-AR1440E

システムエンジニアリング

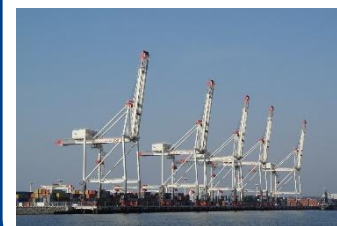
【主要製品】

- ・ 鉄鋼プラント用電気システム
- ・ 港湾荷役用電気システム
- ・ 上下水道用電気システム

など



鉄鋼プラント用
電気システム



港湾クレーン

その他

- ・ 物流サービス

など

1. 2026年度 上期 連結業績

2026年度 上期 実績

- ・売上収益は、データセンタおよび半導体関連を中心とした需要の拡大により、モーションコントロールセグメントを中心に販売が伸長し増加
- ・営業利益は、基幹システムの移行に伴う生産・出荷への影響に加え、間接費の増加や欧州における事業構造改革費用の一時的な計上などにより減少

	2026年度	2025年度	前年同 期 比	
	上期 実績	上期 実績	増減額	増減率
売 上 収 益	2,856億円	2,602億円	+254億円	+9.8%
営 業 利 益	221億円	233億円	▲13億円	▲5.5%
税 引 前 利 益	260億円	252億円	+8億円	+3.0%
親会社の所有者に帰属する 中 間 利 益	190億円	182億円	+7億円	+4.1%

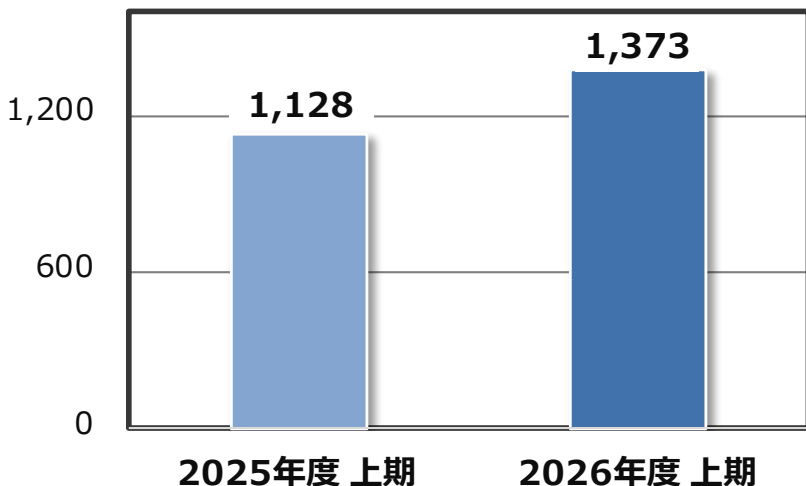
2026年度 上期 実績（セグメント別）

- ・ 売上収益は、モーションコントロールがけん引し増加
- ・ 営業利益は、モーションコントロールの増益が寄与もロボットの減益により減少

	2026年度 上期		2025年度 上期		前 年 同 期 比	
	実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
(単位：億円)						
売上収益	2,856		2,602		+254	+9.8%
モーションコントロール	1,373		1,128		+244	+21.7%
ロボット	1,184		1,192		▲8	▲0.7%
システムエンジニアリング	208		187		+21	+11.2%
その他	91		95		▲3	▲3.5%
営業利益	221	7.7%	233	9.0%	▲13	▲5.5%
モーションコントロール	160	11.6%	120	10.7%	+39	+32.8%
ロボット	60	5.0%	105	8.8%	▲46	▲43.3%
システムエンジニアリング	35	16.8%	19	10.4%	+15	+79.5%
その他	6	6.3%	9	9.9%	▲4	▲38.5%
消去または全社	▲39	-	▲21	-	▲18	-

主要事業の概要 モーションコントロール

売上収益(億円)



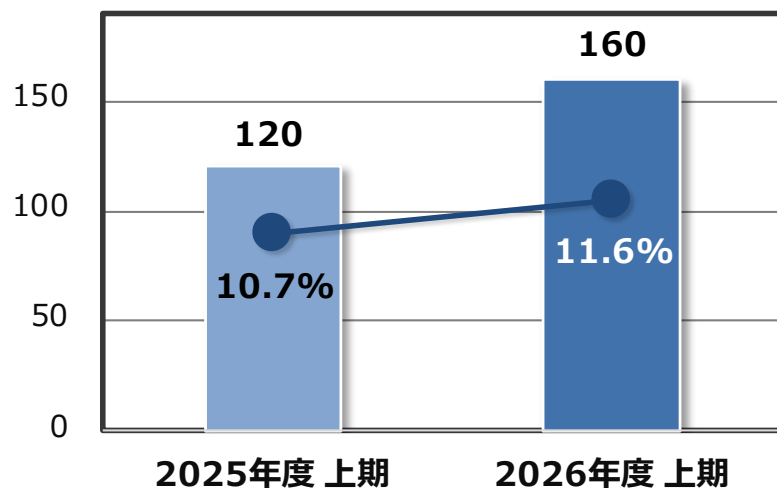
【売上収益】

- ACサーボは、半導体・電子部品関連や工作機械向けを中心に販売が伸長し、すべての地域で増収
- インバータは、データセンタ用途および半導体製造装置向けの他、オイル・ガス関連向けの販売拡大などにより増収

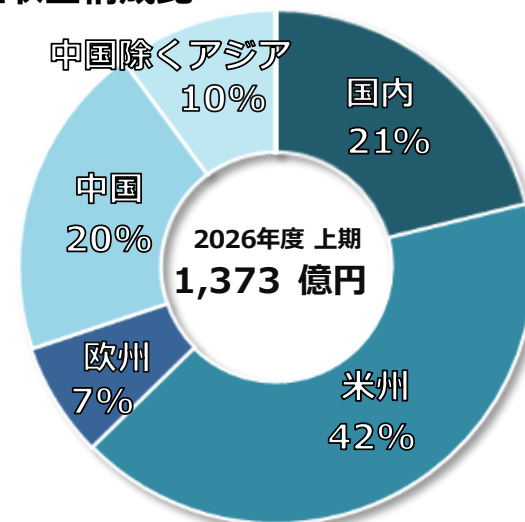
【営業利益】

- 基幹システムの移行に伴う生産への影響があったものの、売上増加により増益

営業利益(億円)・営業利益率(%)

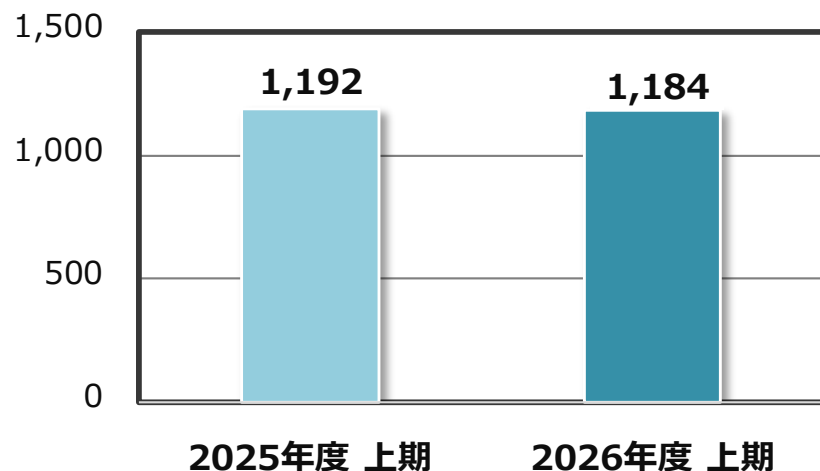


所在地別売上収益構成比



主要事業の概要 ロボット

売上収益(億円)



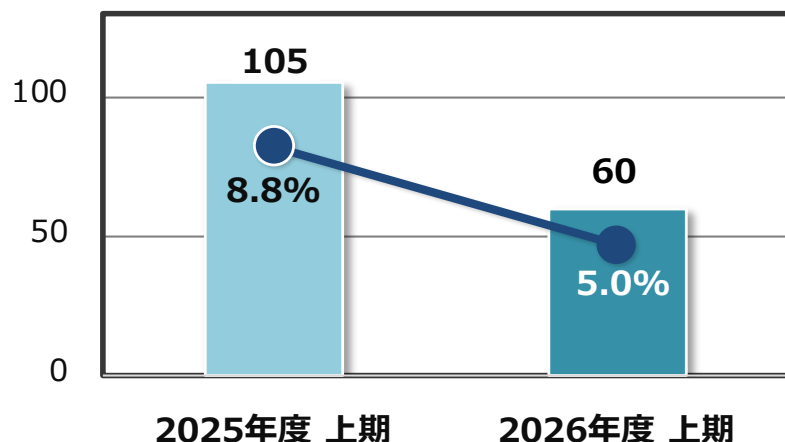
【売上収益】

- 自動車市場向けが堅調な米州や半導体ロボットの販売が好調な中国など海外での販売が拡大
- 一方、日本では基幹システム移行影響により販売が減少

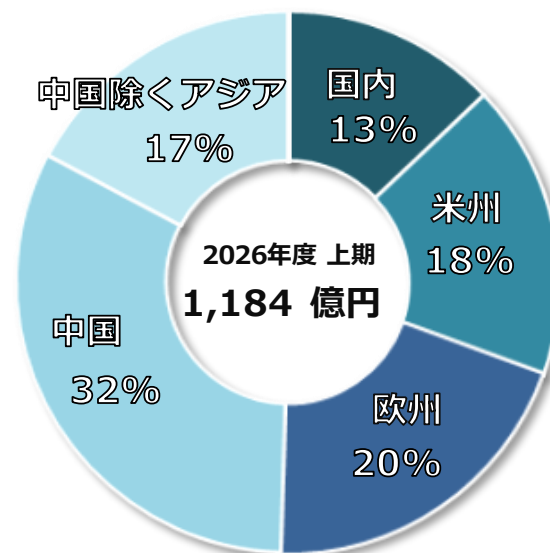
【営業利益】

- 売上減少や欧州における事業構造改革費用の一時的な計上などにより減益

営業利益(億円)・営業利益率(%)

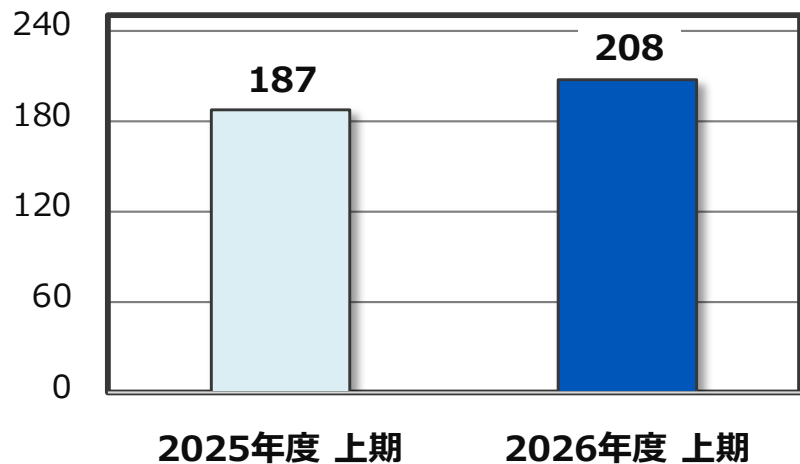


所在地別売上収益構成比



主要事業の概要 システムエンジニアリング

売上収益(億円)



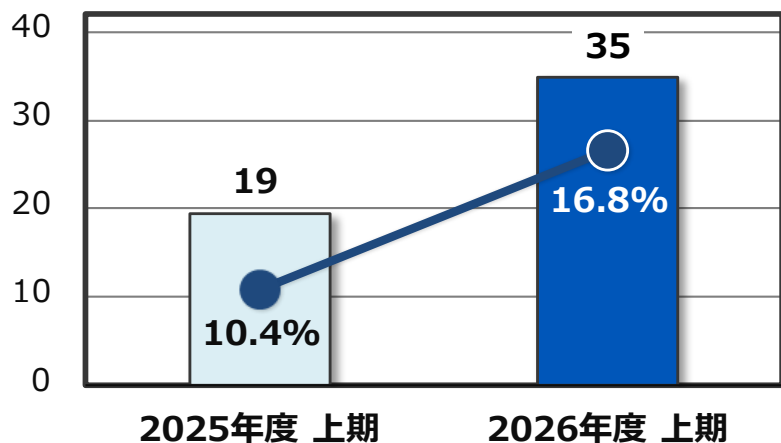
【売上収益】

- ・ 港湾クレーン関連等の販売が拡大し増収

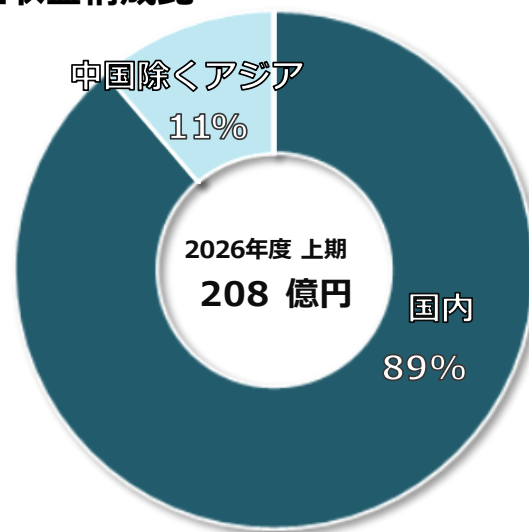
【営業利益】

- ・ 売上増に加え案件の採算改善により大幅な増益

営業利益(億円)・営業利益率(%)

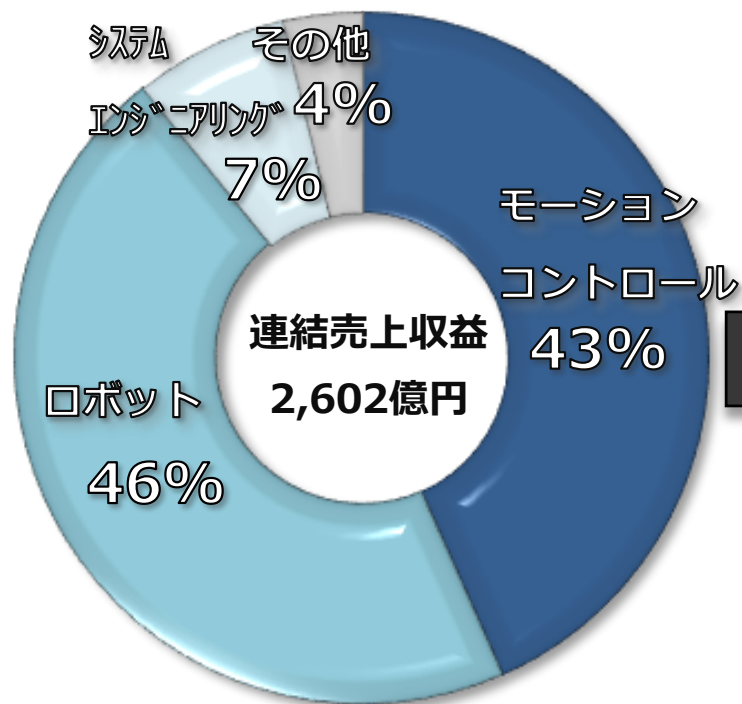


所在地別売上収益構成比

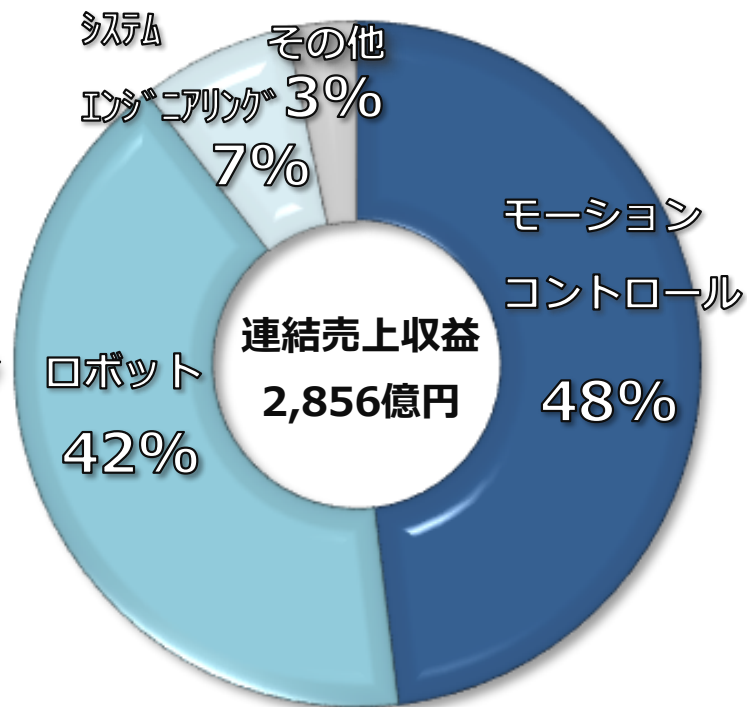


事業セグメント別売上収益構成比

2025年度 上期



2026年度 上期



所在地別売上収益

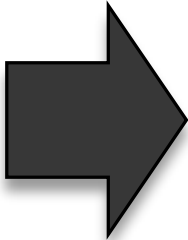
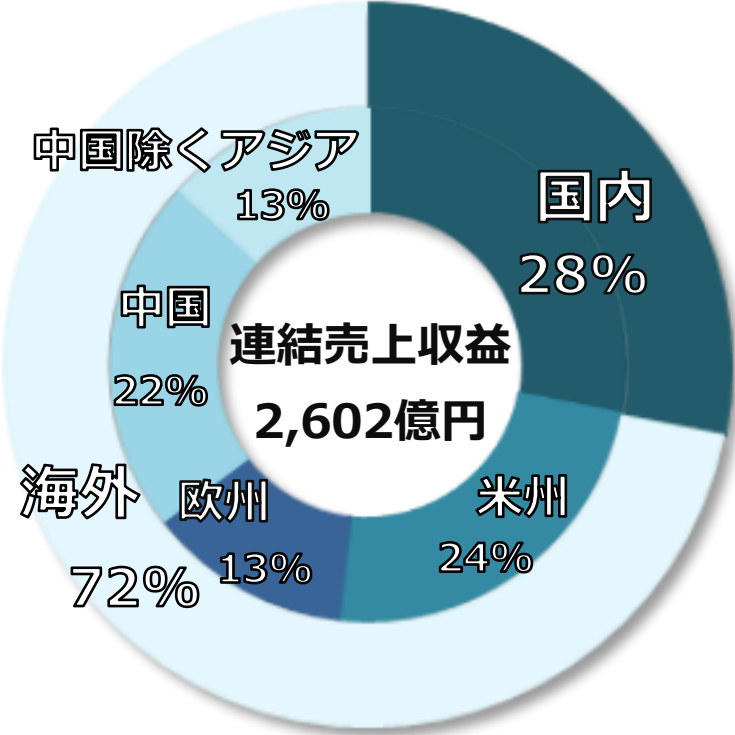
・米州を中心に売上が増加

(単位：億円)	2026年度	2025年度	前年同 期 比	
	上期 実績	上期 実績	増減額	増減率
売 上 収 益	2,856	2,602	+254	+9.8%
国内	707	730	▲23	▲3.2%
海外	2,149	1,872	+277	+14.8%
米州	781	619	+162	+26.2%
欧州	335	332	+3	+0.8%
中国	667	579	+88	+15.1%
中国除くアジア	366	341	+25	+7.3%

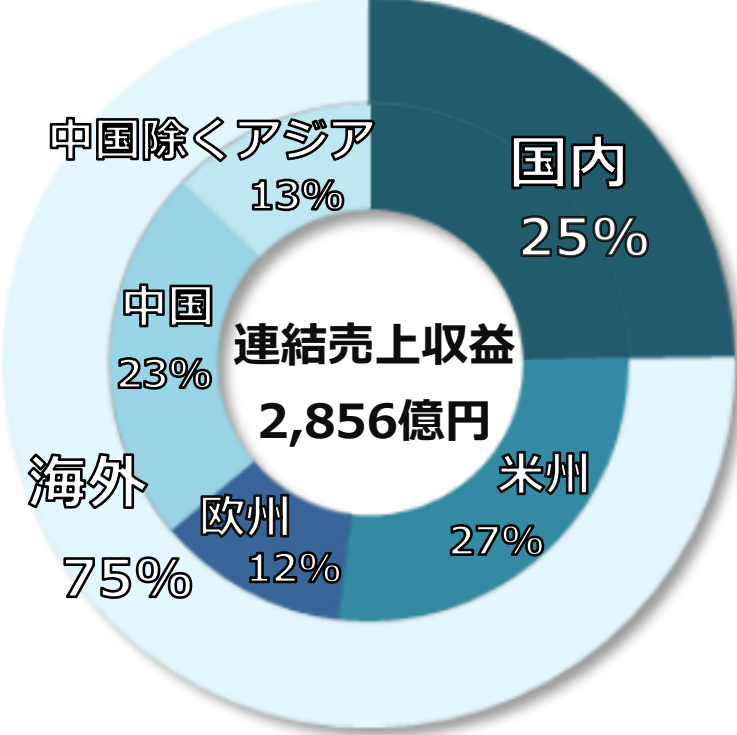
[注] 欧州には、中近東およびアフリカを含む

所在地別売上収益構成比

2025年度 上期



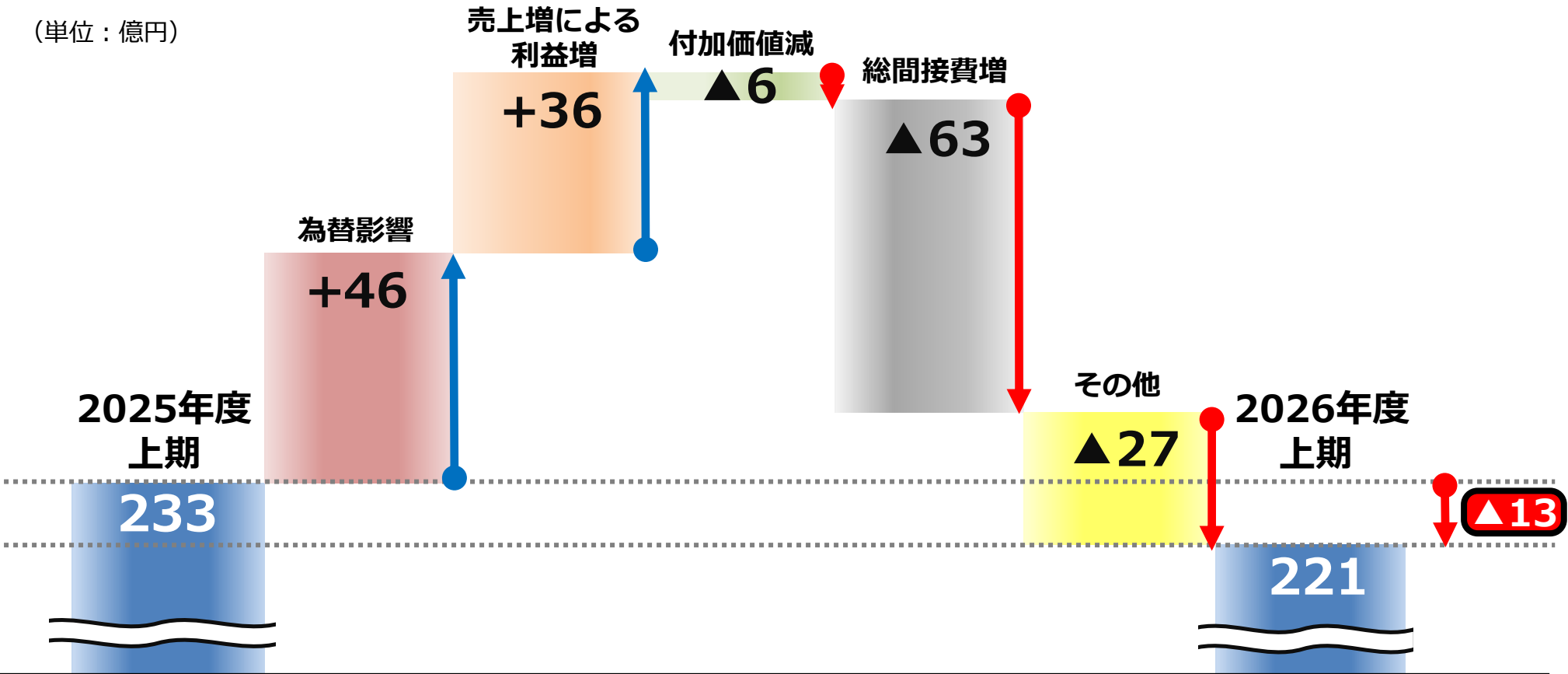
2026年度 上期



[注] 欧州には、中近東およびアフリカを含む

営業利益増減要因分析（2025年度上期 → 2026年度上期）

（単位：億円）



内訳	為替影響	売上増減による利益増減	付加価値増減	総間接費増減	その他
モーションコントロール	+ 26	+ 80	▲ 27	▲ 37	▲ 3
ロボット	+ 20	▲ 52	+ 9	▲ 7	▲ 16
システムエンジニアリング	▲ 0	+ 9	+ 15	▲ 9	+ 0
その他	+ 0	▲ 1	▲ 3	▲ 11	▲ 8

2026年度 上期における取組み

各セグメントにおける取組み

モーション コントロール

ACサーボモータ・コントローラ事業

- ・ 基幹システム移行の影響下において、増産に向けた体制を整備

インバータ事業

- ・ U1000の強み（高調波抑制）を生かし、米国におけるデータセンタ建屋空調・サーバー冷却用途向け受注を獲得



マトリクスコンバータ
「U1000」

ロボット

- ・ ACサーボとロボットの一貫生産を行う
ロボット第5工場(福岡県北九州市)を本格稼働し、
AIロボット「MOTOMAN NEXT」を活用した
フィジカルAIを実践



分散セル方式
による第5工場
でのロボット
生産の様子

システム エンジニアリング

- ・ 鉄鋼市場向け自動クレーンの案件を獲得
- ・ 南行橋事業所(福岡県行橋市)のシステムエンジニアリング工場を本格稼働

その他トピック

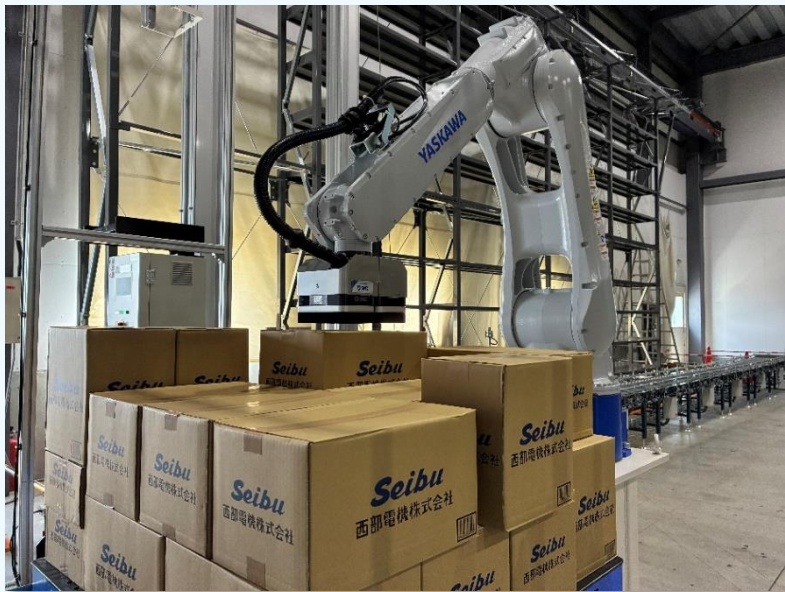
- ・ 経営基盤の強化に向けた基幹システムの移行を完了し、業務における運用定着に向けた取組みを重点的に実施
- ・ パートナー企業との協創を通じ、AIロボット「MOTOMAN NEXT」を核としたフィジカルAIソリューションの開発・実証を推進

AIロボティクス領域の拡大に向けた取り組み

実際の導入事例

混載パレタイズシステムの開発

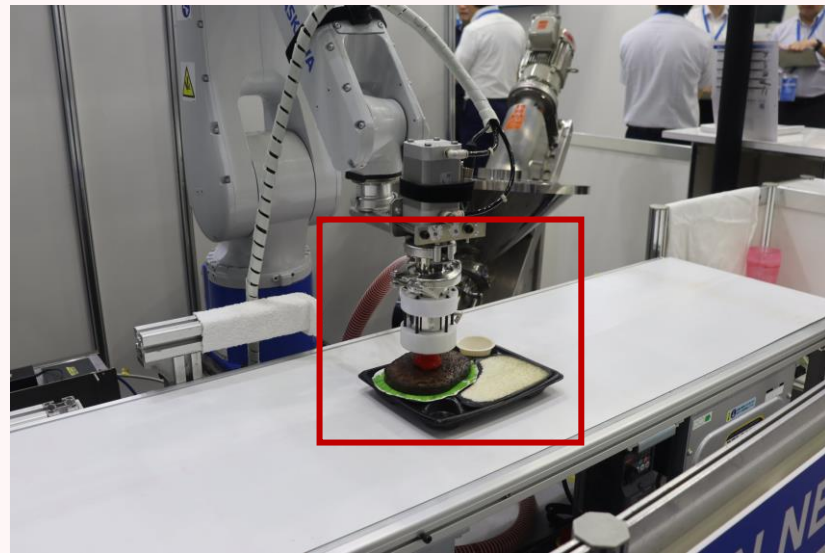
西部電機 株式会社 様



物流業界の人手不足解消に向け、物流センターにおいて省人化効果が期待される配送用什器への積付け作業の自動化を目指す。AIを活用して**異形段ボールを含む混載パターンを最適に判断**することで、高効率かつ安定した積付けの実現を図る。

食材トッピング工程の自動化

株式会社 ニップン 様



商品見本と実際の製品状態をAIが認識・比較し、自ら状況を判断して最適なソース充填動作を自律的に実行。**多品種生産に対応し、段取り替え工数の削減と品質の安定化を実現。**
食品製造現場が直面する人手不足や品質のばらつきなどの課題解決を目指す。

2. 2026年度 通期 連結業績見通し

2026年度 通期 見通し

・ 為替相場が円安水準で推移しており、売上収益の増加が見込まれる一方、基幹システム移行による
上期の生産・出荷への影響等を織り込み、2026年4月10日公表の予想を修正

	2026年度	2025年度	前 年 同 期 比		2026年度 前回見通し※
	見通し		増減額	増減率	
売 上 収 益	6,000億円	5,421億円	+579億円	+10.7%	5,800億円
営 業 利 益	575億円	473億円	+102億円	+21.5%	600億円
税 引 前 利 益	655億円	496億円	+159億円	+32.2%	650億円
親会社の所有者に帰属する 当 期 利 益	475億円	352億円	+123億円	+34.8%	470億円

※2026年4月10日 2025年度通期決算発表時

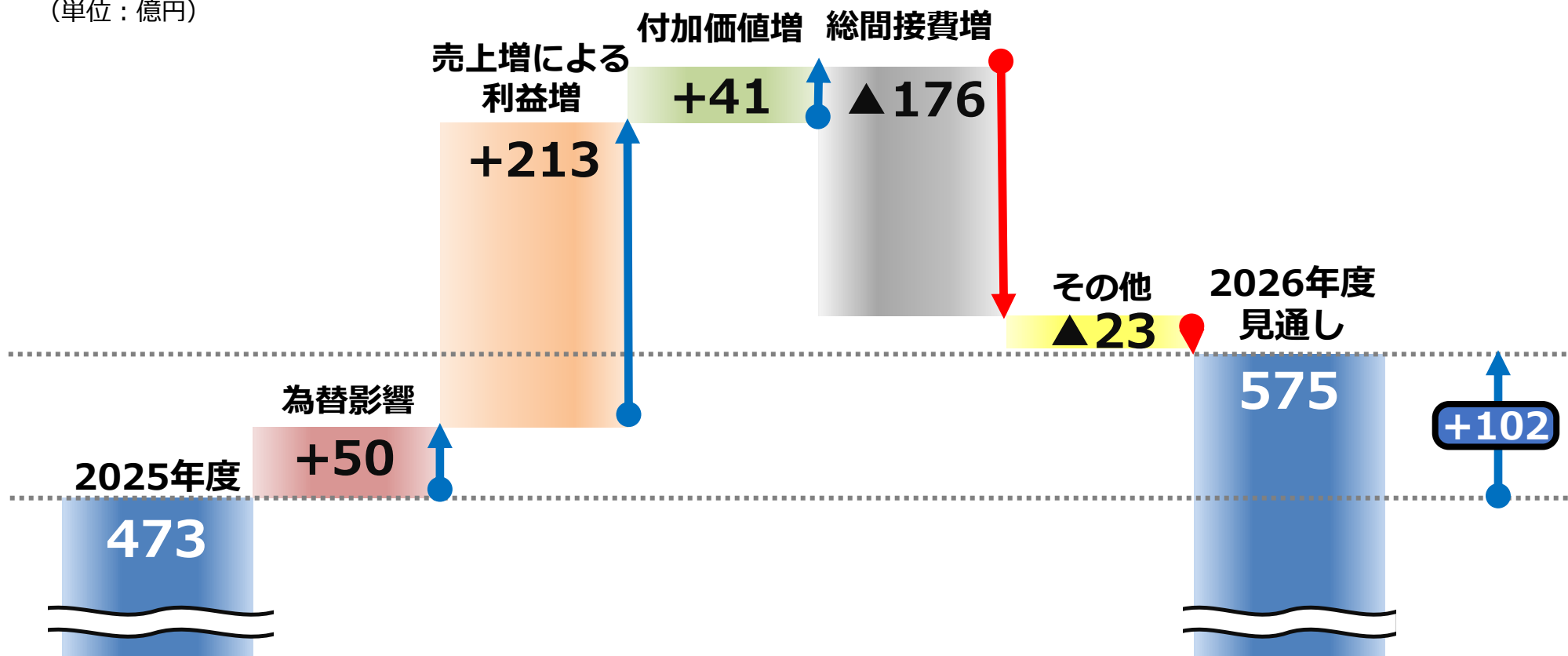
2026年度 通期 見通し (セグメント別)

(単位：億円)	2026年度		2025年度		前 年 同 期 比		2026年度	
	見通し	利益率	実績	利益率	増減額	増減率	前回見通し※	利益率
売上収益	6,000		5,421		+579	+10.7%	5,800	
モーションコントロール	2,903		2,361		+542	+23.0%	2,800	
ロボット	2,510		2,470		+40	+1.6%	2,400	
システムエンジニアリング	412		387		+25	+6.4%	400	
その他	175		203		▲28	▲13.7%	200	
営業利益	575	9.6%	473	8.7%	+102	+21.5%	600	10.3%
モーションコントロール	394	13.6%	244	10.3%	+150	+61.5%	420	15.0%
ロボット	178	7.1%	204	8.3%	▲26	▲12.8%	210	8.7%
システムエンジニアリング	56	13.5%	50	12.9%	+6	+11.3%	32	8.0%
その他	15	8.4%	20	9.8%	▲5	▲25.7%	13	6.5%
消去または全社	▲67	-	▲45	-	▲23	-	▲75	-

※2026年4月10日 2025年度通期決算発表時

営業利益増減要因分析（2025年度 → 2026年度見通し）

（単位：億円）



内訳	為替影響	売上増減による利益増減	付加価値増減	総間接費増減	その他
モーションコントロール	+ 25	+ 235	▲ 4	▲ 106	▲ 1
ロボット	+ 25	▲ 32	+ 26	▲ 33	▲ 13
システムエンジニアリング	+ 0	+ 11	+ 16	▲ 21	▲ 1
その他	+ 0	▲ 2	+ 3	▲ 17	▲ 9

2026年度 下期における取組み

各セグメントにおける取組み

モーション コントロール

ACサーボモータ・コントローラ事業

- ・ 製品供給の正常化と増産体制の構築
- ・ 中国市場向け戦略製品（Σ-Mx）による受注拡大

インバータ事業

- ・ 需要が好調なデータセンタ向けU1000の生産・販売の拡大
- ・ 需要増に対応したベトナム拠点の基板供給体制の確立によるSCMおよび需要地生産の強化



ベトナム基板工場

ロボット

- ・ 半導体製造装置用ロボットの受注増に対する増産体制の構築
- ・ MOTOMAN NEXTの実証成果を活用したパッケージの展開とパートナーとの協業によるAIロボティクスの社会実装の加速

システム エンジニアリング

- ・ 南行橋事業所の安定稼働に向けた取組み加速

その他トピック

- ・ ヒューマノイドロボットの事業化に向けた、現場実証を通じたデータ蓄積と機体設計の加速
- ・ MOTOMAN NEXTを活用した「いちごの選果」の自動化ソリューションの現場導入



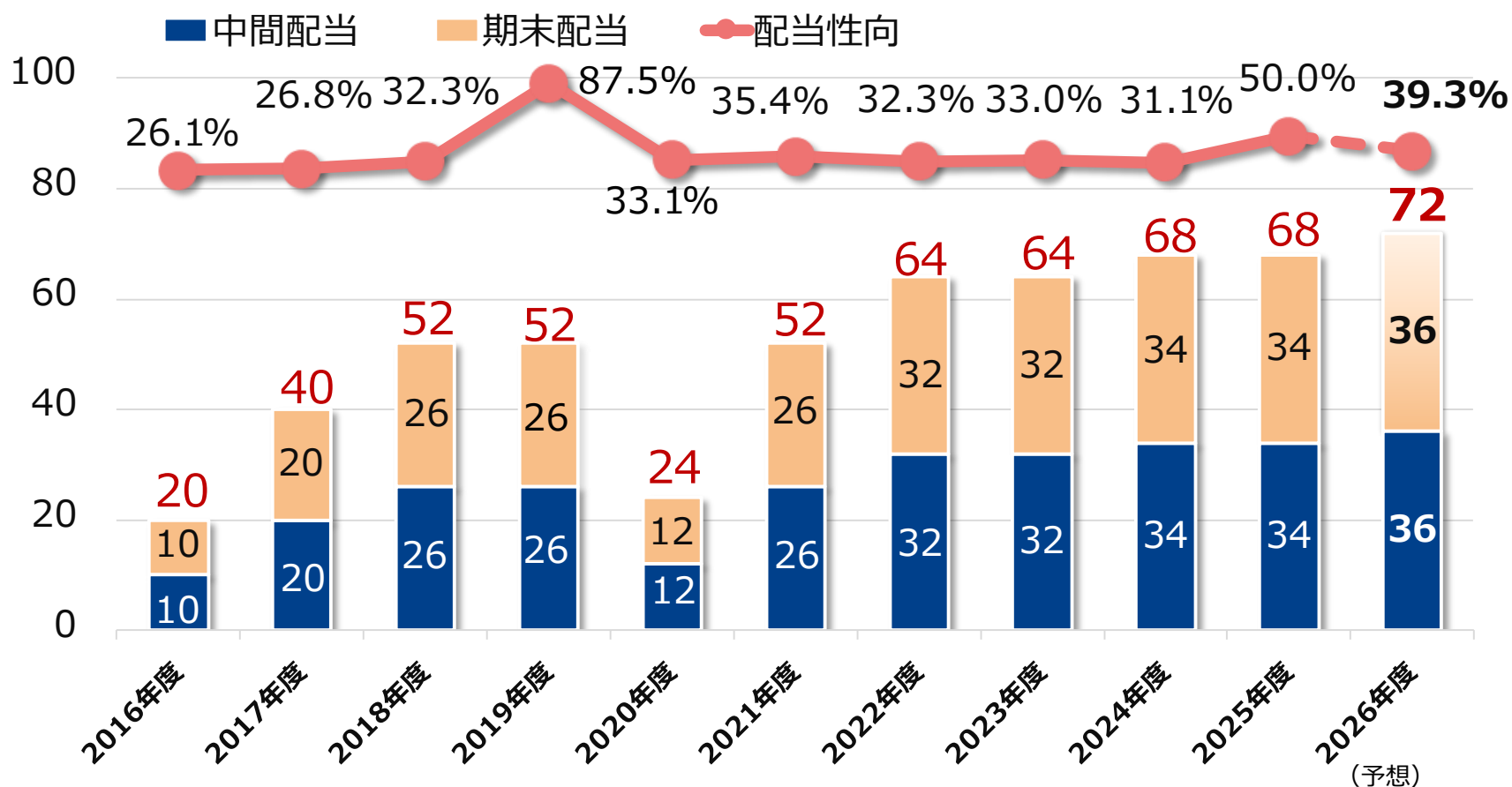
ヒューマノイドロボット用
アクチュエータ（開発中）

株主還元（配当金推移）

- ・ 2026年度中間配当は、期初予想どおり1株当たり36円を実施
- ・ 2026年度の年間配当予想は1株当たり72円を維持（予想配当性向39.3%）

(円)

配当金推移



3. 参考資料

設備投資・研究開発費, 為替レート・感応度

設備投資・研究開発費の状況

(単位：億円)

	2024年度(実績)	2025年度(実績)	2026年度(計画)
設備投資額	406.7	570.4	580.0
減価償却費	208.0	210.8	260.0
研究開発投資	237.7	240.1	240.0

為替レート

(単位：円)

	2024年度(実績)			2025年度(実績)			2026年度(想定)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期(実績)	下期	通期
対 米ドル	153.7	151.6	152.7	146.2	153.7	149.9	159.8	155.0	157.4
対 ユーロ	166.6	161.3	164.0	166.0	179.8	172.8	184.9	180.0	182.5
対 元	21.23	21.01	21.12	20.26	21.80	21.01	23.48	22.00	22.74
対 ウォン	0.113	0.108	0.111	0.104	0.107	0.105	0.108	0.107	0.107

為替感応度

(単位：億円)

	1%変動による影響額目安 (2026年度_通期)	
	売上収益	営業利益
米ドル	16.3	4.0
ユーロ	7.1	0.9
元	13.5	3.7
ウォン	4.0	1.8

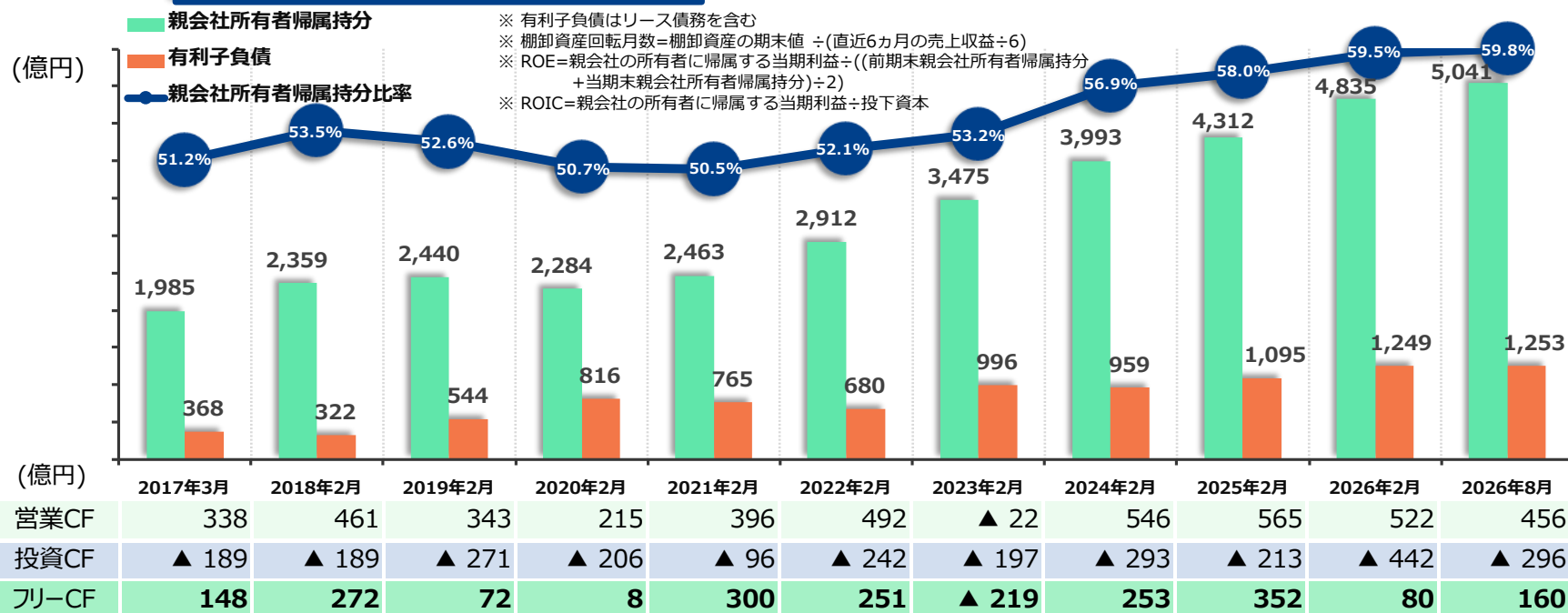
B/S 構造の推移

2026年2月28日時点

- 親会社所有者帰属持分比率 59.5%
- 親会社所有者帰属持分 4,835億円
- 有利子負債 1,249億円
(現金及び現金同等物) 612億円
- D/Eレシオ 0.26
(ネットD/Eレシオ) 0.13
- 棚卸資産 2,108億円
(回転月数) (4.5ヶ月)
- ROE 7.7%
- ROIC 6.9%

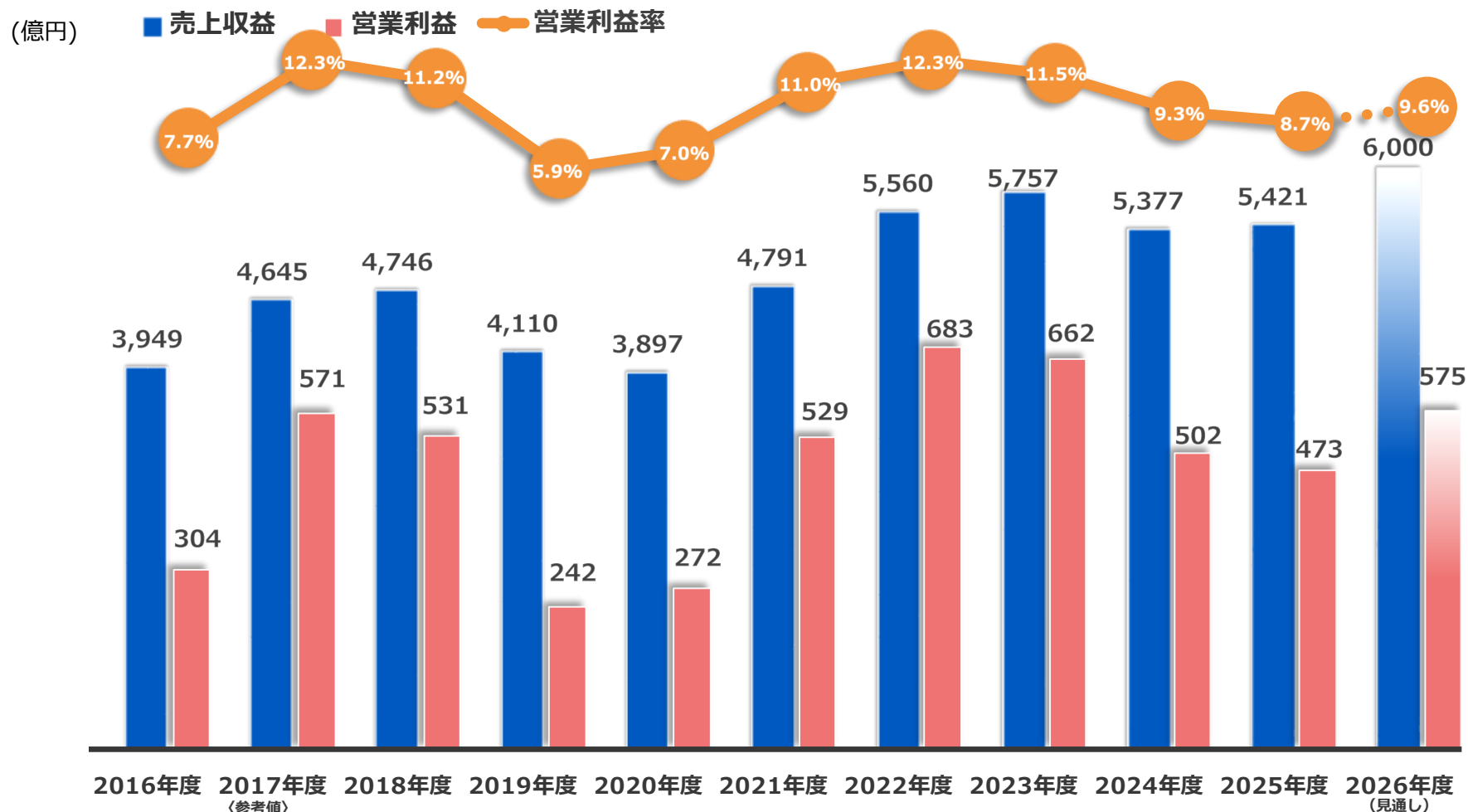
2026年8月31日時点

- 親会社所有者帰属持分比率 59.8%
- 親会社所有者帰属持分 5,041億円
- 有利子負債 1,253億円
(現金及び現金同等物) 661億円
- D/Eレシオ 0.25
(ネットD/Eレシオ) 0.12
- 棚卸資産 2,181億円
(回転月数) (4.6ヶ月)



[注] 2018年2月までのデータは日本基準にて記載

売上収益・営業利益推移（2016年度～2026年度見通し）



Dash 25

Challenge 25 Plus

Realize 25

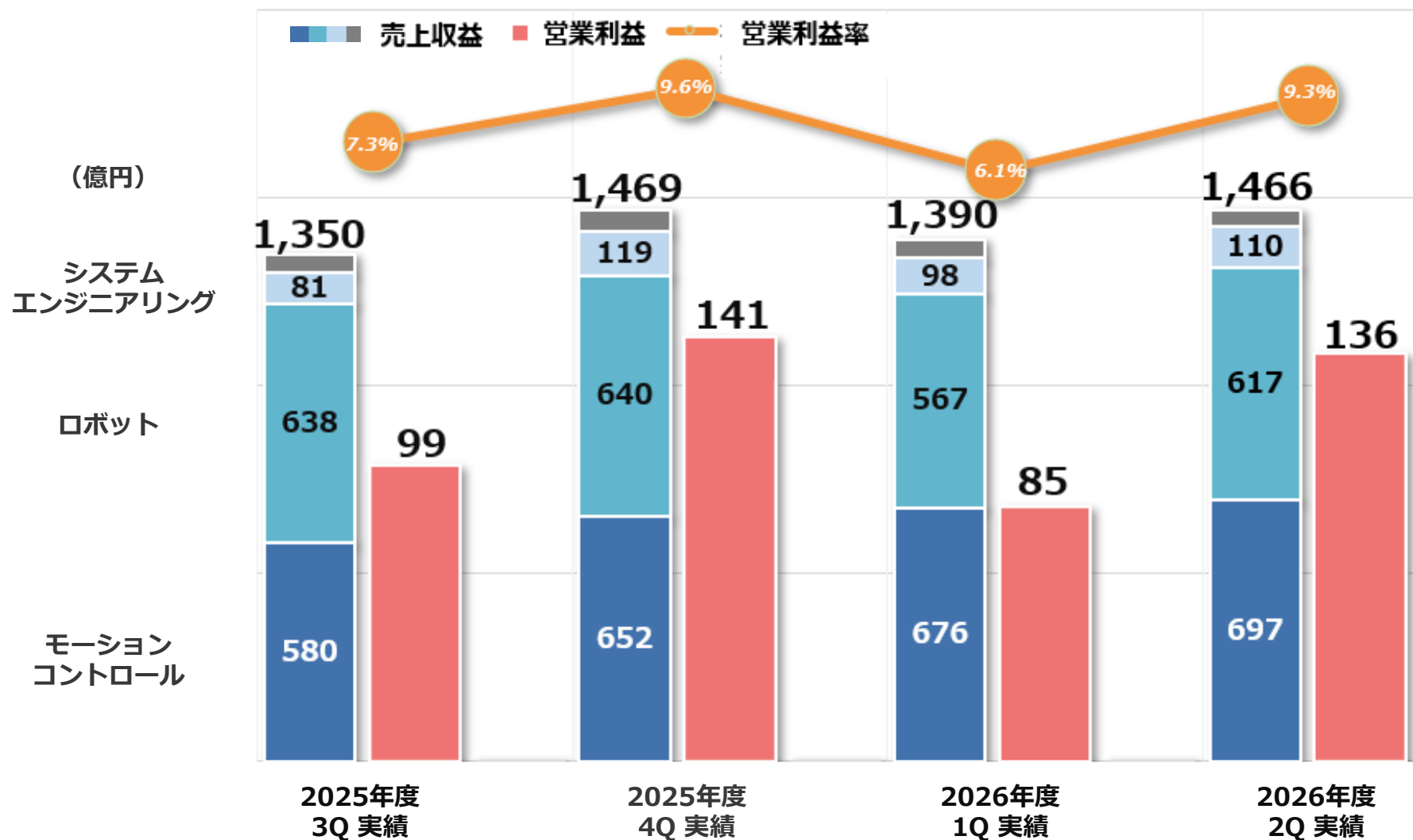
Dash 35

中期経営計画

[注1] 2017年度までのデータは日本基準にて記載

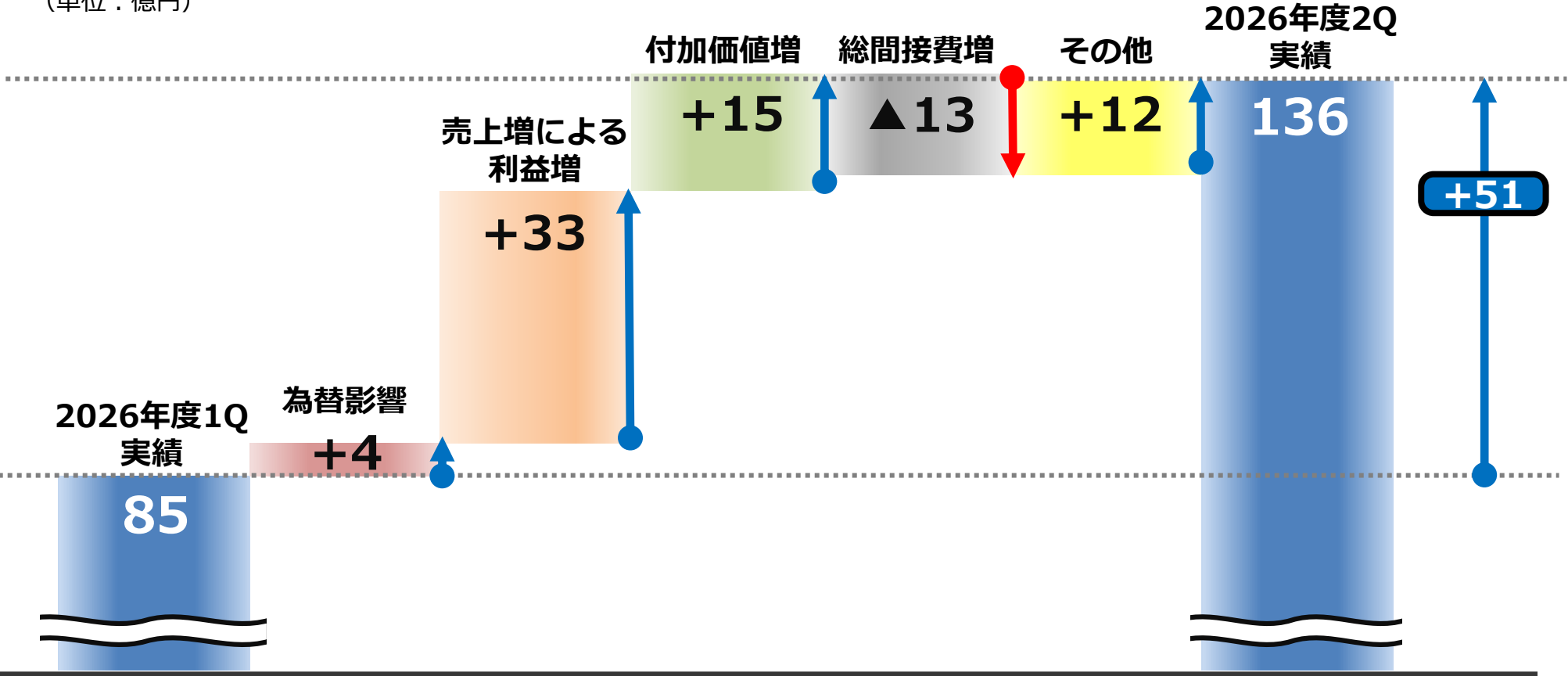
[注2] 2017年度通期実績は、対象期間を2017年3月21日～2018年3月20日に置き換えた〈参考値〉にて記載

売上収益・営業利益 四半期推移



直近四半期営業利益増減要因分析（2026年度 1Q → 2026年度 2Q）

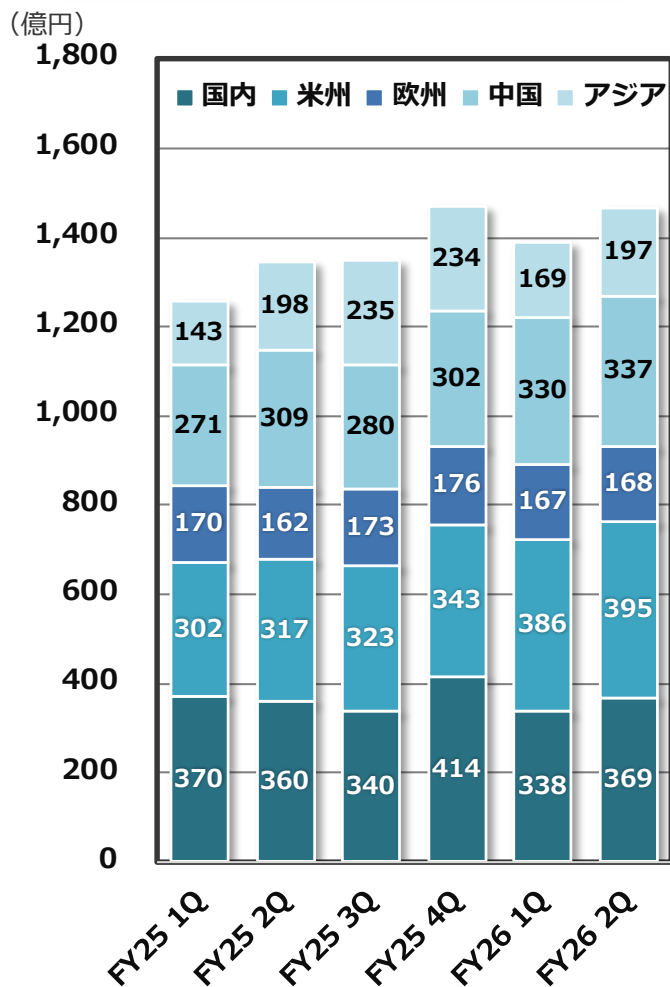
（単位：億円）



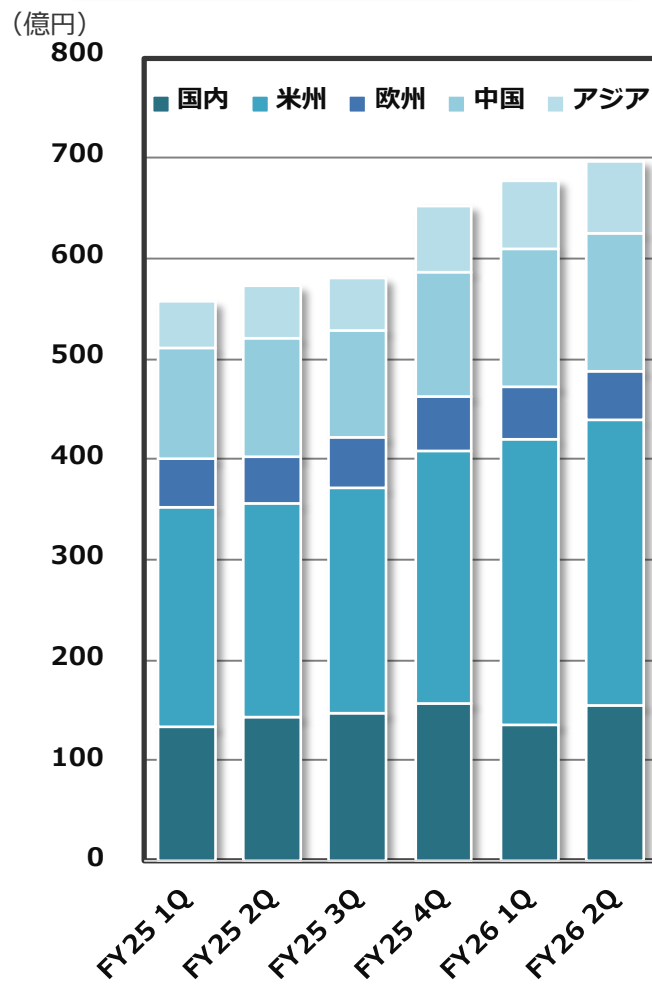
内訳	為替影響	売上増減による利益増減	付加価値増減	総間接費増減	その他
モーションコントロール	+ 2	+ 7	▲ 0	▲ 4	+ 3
ロボット	+ 2	+ 20	+ 20	▲ 8	+ 7
システムエンジニアリング	+ 0	+ 7	▲ 6	▲ 4	▲ 0
その他	+ 0	▲ 1	+ 0	+ 2	+ 1

売上収益 四半期推移

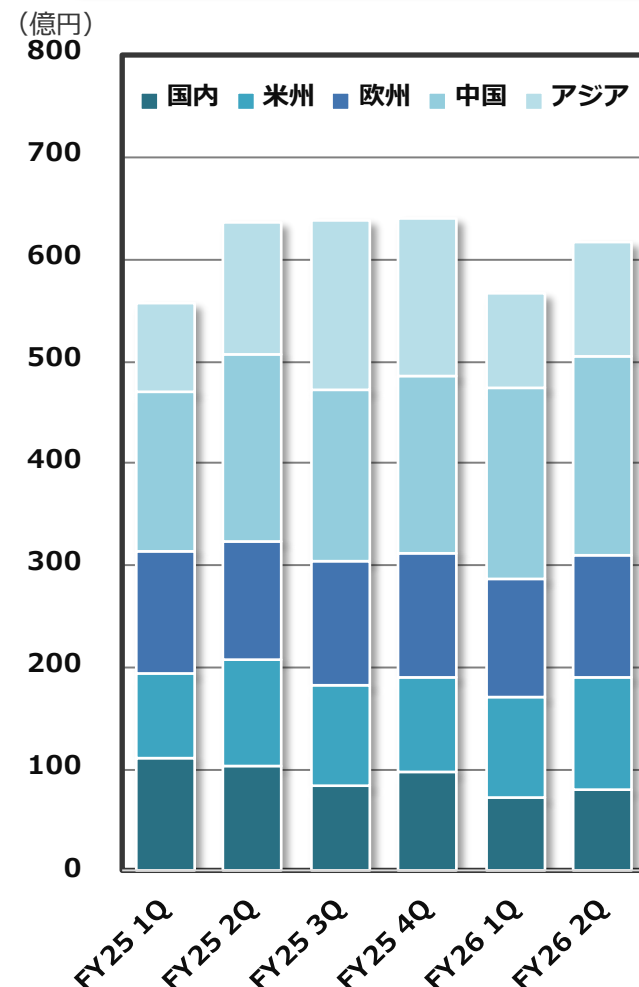
全社



モーションコントロール

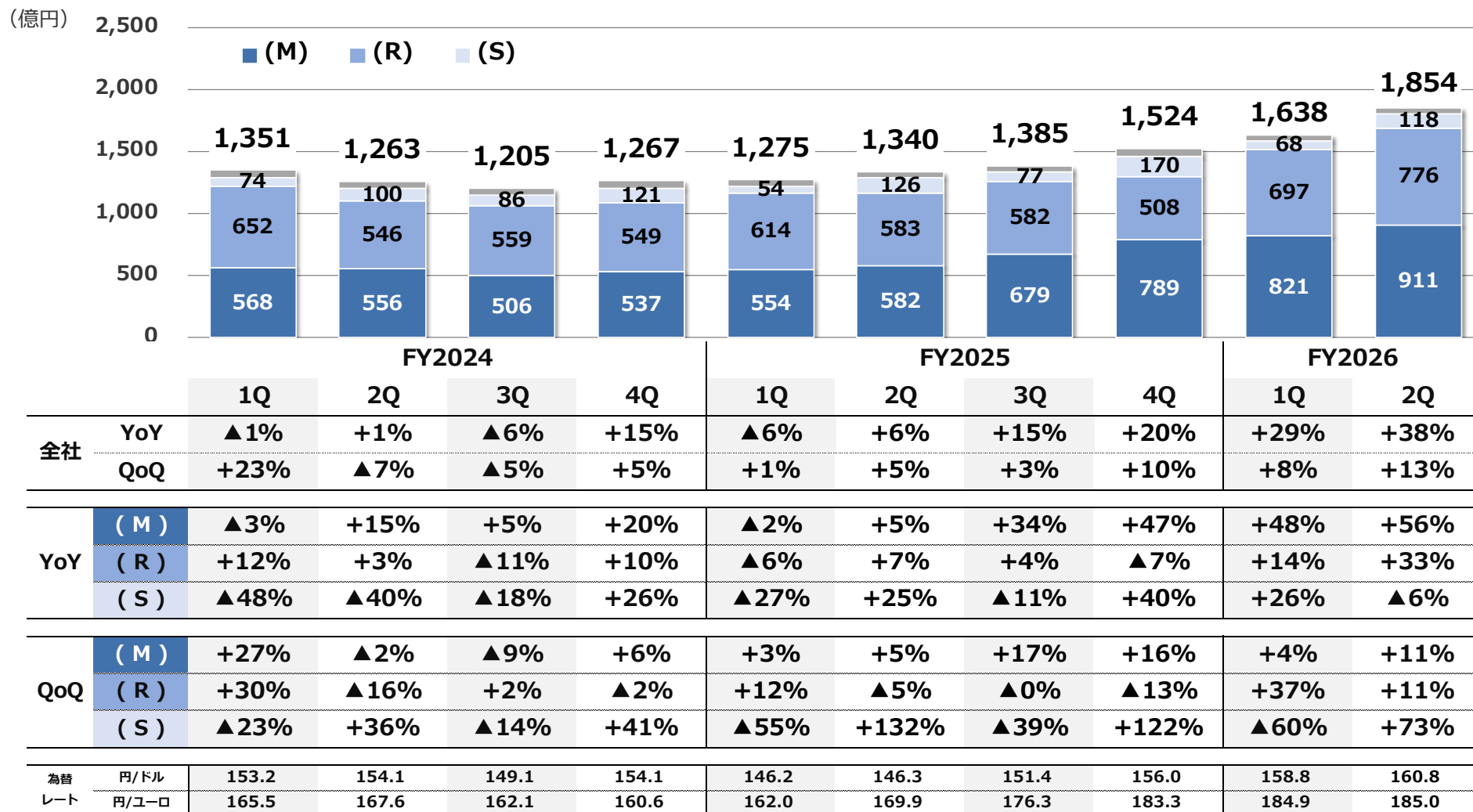


ロボット



四半期受注推移（セグメント別）

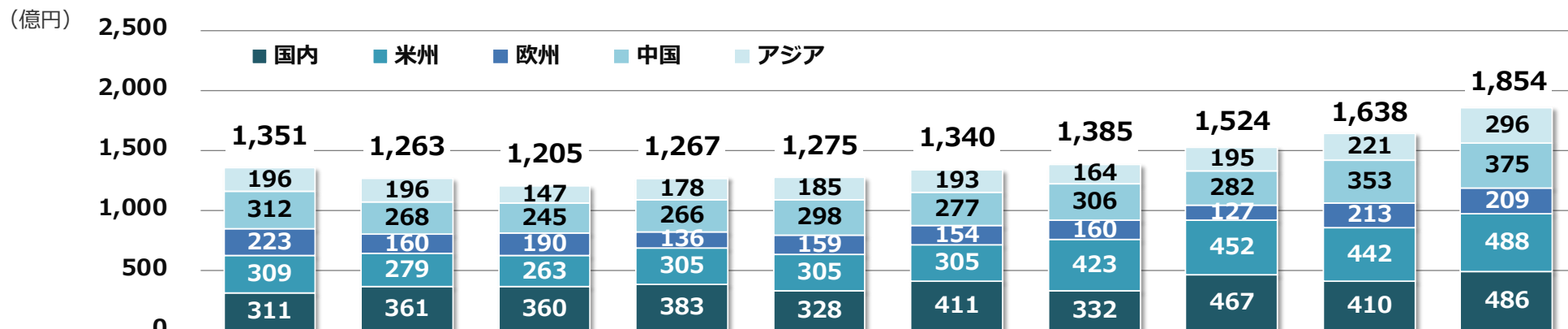
※為替は期中平均レートを使用



[注] 表記：(M) = モーションコントロール, (R) = ロボット, (S) = システムエンジニアリング

四半期受注推移（所在地別）

※為替は期中平均レートを使用



		FY2024				FY2025				FY2026	
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
全社	YoY	▲1%	+1%	▲6%	+15%	▲6%	+6%	+15%	+20%	+29%	+38%
	QoQ	+23%	▲7%	▲5%	+5%	+1%	+5%	+3%	+10%	+8%	+13%
YoY	国内	▲13%	+2%	+13%	+18%	+6%	+14%	▲8%	+22%	+25%	+18%
	米州	+10%	+7%	▲8%	+32%	▲1%	+9%	+61%	+48%	+45%	+60%
	欧州	+5%	▲13%	▲9%	▲15%	▲29%	▲4%	▲16%	▲7%	+34%	+36%
	中国	▲1%	▲3%	+1%	+11%	▲5%	+3%	+25%	+6%	+19%	+35%
	アジア	▲4%	+14%	▲34%	+22%	▲6%	▲1%	+11%	+10%	+19%	+53%
QoQ	国内	▲5%	+16%	▲0%	+6%	▲14%	+25%	▲19%	+41%	▲12%	+18%
	米州	+34%	▲10%	▲6%	+16%	+0%	▲0%	+39%	+7%	▲2%	+10%
	欧州	+40%	▲28%	+19%	▲28%	+17%	▲3%	+4%	▲21%	+68%	▲2%
	中国	+30%	▲14%	▲9%	+9%	+12%	▲7%	+10%	▲8%	+25%	+6%
	アジア	+34%	▲0%	▲25%	+21%	+4%	+5%	▲15%	+19%	+13%	+34%

参考定量情報（為替影響・受注・売上収益比率）

売上収益における為替影響

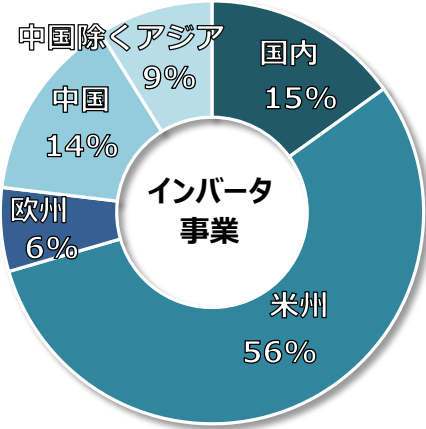
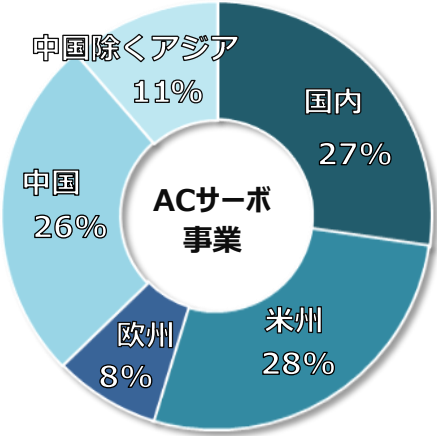
	前年同期比	
	2026年度 上期	2026年度 見通し
（単位：億円）		
全社	+206	+222
モーションコントロール	+101	+110
ロボット	+101	+108
システムエンジニアリング	+2	+1
その他	+1	+2

連結受注 事業別・所在地別増減率

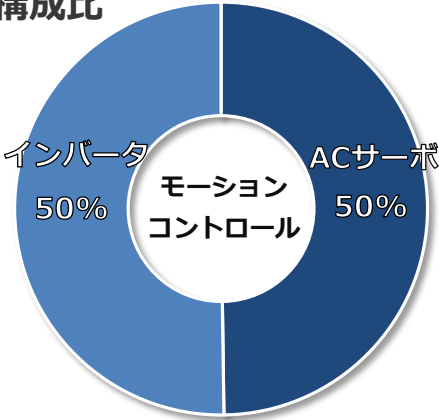
FY2026 2Q 受注		モーションコントロール		ロボット
		ACサーボ	インバータ	
全社	YoY	+76%	+38%	+33%
	QoQ	+9%	+14%	+11%
YoY	国内	+41%	+32%	+30%
	米州	+170%	+48%	+12%
	欧州	+11%	+57%	+39%
	中国	+33%	+14%	+41%
	アジア	+195%	+12%	+35%
QoQ	国内	+4%	+14%	+39%
	米州	+2%	+23%	▲1%
	欧州	+5%	+25%	▲7%
	中国	+2%	▲4%	+9%
	アジア	+54%	▲17%	+28%

モーションコントロールセグメント
2026年度上期 売上収益構成比

所在地別売上収益構成比



事業別売上収益構成比



YASKAWA